

国立大学図書館協会 海外派遣者選考委員会報告（平成17年度）

1. 海外派遣事業

(1) 派遣内容：

a) イリノイ大学モーテンソンセンター・アソシエイツ・プログラム（8週間）1名

b) 諸外国の先進的な図書館活動、施設等に関する調査・研究 1名

(2) 事業期間：平成18年度から20年度までの3年間

(3) 財 源：田嶋記念大学図書館振興財団からの助成金及び国立大学図書館協会基金

(4) 派遣者の選考：「海外派遣者選考委員会」で選考し、理事会に報告して決定

(5) 報 告：

会長に報告書を提出する他、成果を「大学図書館研究」誌上、総会等で発表

2. 経 過

経過	日付	事 項
1	2006.1.27	人材委員会委員長及び委員で海外派遣者選考委員会を構成 （「海外派遣者選考委員会規程」（平成18年1月27日 理事会 決定）第4条の規定による）
2	31	海外派遣者公募開始 締切：2月28日
3	3. 3	海外派遣者選考委員会委員長宛に事務局から応募者4名の応募書 類送付 （応募者の内訳）モーテンソンセンターに3名、調査・研究に1名
4	7	海外派遣者選考委員会委員長が、応募者の所属大学を考慮して海外 派遣者審査委員会委員3名を選考、海外派遣者審査委員を委嘱
5	10	海外派遣者審査委員会開催
6	15	海外派遣者審査委員会委員長から審査報告を海外派遣者選考委員 会委員長に提出
7	17	上記報告を海外派遣者選考委員会に文書回議 3月22日 了承
8	27	海外派遣者選考委員会委員長から海外派遣者選考結果を理事会に 報告
9	4. 3	上記選考結果を会長から理事会に文書回議 理事会で、了承（4月13日付連絡）

3. 平成18年度海外派遣者の選考結果

(別紙)のとおり

4. 海外派遣者審査委員会から審査経験から検討を要すると指摘があり、検討を加える予定の事項

(1) 審査に必要な情報として、申請書、推薦書への追加記載項目

(2) 面接の必要性

5. 平成19年度海外派遣者の募集(3年計画の2年目)

平成18年秋に12月末を期限として公募予定

6. 委員名簿(平成18年3月末の選考時点) : 委員長

大平 具彦 北海道大学附属図書館副館長

北村 明久 東北大学附属図書館事務部長

植松 貞夫 筑波大学附属図書館長

関川 雅彦 東京大学附属図書館情報管理課長

青木 利根男 東京学芸大学学術情報部情報管理課長

早瀬 均 名古屋大学附属図書館事務部長

中井 えり子 三重大学学術情報部情報図書館課長

大埜 浩一 京都大学附属図書館事務部長

長坂 みどり 京都大学附属図書館総務課長

石井 道悦 神戸大学附属図書館情報管理課長

平元 健史 広島大学図書館部長

貝田 辰雄 国立情報学研究所開発・事業部企画調整課長

事務局：京都大学附属図書館

人材育成担当理事館：北海道大学附属図書館、京都大学附属図書館

7. 参 考

(1) 人材委員会報告(平成17年度)

(2) 「海外派遣事業実施要項」(平成18年1月27日 理事会決定)等の諸規程

(別紙)

平成18年度国立大学図書館協会
海外派遣者選考結果

(1) イリノイ大学モーテンソンセンターの Associates Program (8週間)

応募者 庄 ゆかり

広島大学図書館部学術情報整備グループ

調査研究テーマ 「図書館における企画・立案とマーケティング」

選考理由 調査研究テーマ「図書館における企画・立案とマーケティング」は、法人化した国立大学図書館の運営に不可欠ではあるが、現状ではその実際的な調査研究が十分されていない分野であり、またモーテンソンセンターの研修において十分成果が期待できるものである。英語力もモーテンソンセンターにおける研修を受講するに十分であり、受講に対する積極性・熱意も高い。
昨年ICOLCボストン大会へ参加し、帰国後は講演会や「大学図書館研究」等を通して、その成果を広く図書館界に還元している。同様に、モーテンソンセンターの研修成果を活かして、国内の図書館活動の発展に寄与する事が期待できる。

(2) 諸外国の先進的な図書館活動、施設等に関する調査・研究

該当者なし